

単 元 病気を予防し、元気に過ごそう

1 本単元（題材）で求める「学びを実感する子どもの姿」

◇ 病気を予防するための生活行動を実践することの価値を感じている

自分の生活経験から病気と生活行動とのかかわりに関する問いをもち、病気の発生要因や予防に関する知識と生活行動の関連や自分の生活行動とのずれに気づき、病気を予防するための生活行動を実践することの必要性を感じている姿である。

◇ 病気の起こり方や病原体がもととなって起こる病気の予防の方法を理解し、自分の生活行動を見直し、実践しようとしている

「病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などがかかわりあっていること」や身近な感染症の予防方法を知る。そして、病気に関する知識と自分の生活経験とを関連づけて考えることを通して、自分の生活行動を見直し、実際に病気の予防を意識した具体的な生活行動を実践へつなげようとしている姿である。

◇ 仲間と病気を予防するための知識や生活行動のあり方を交流し、病気を予防するための生活行動のよさを自分の生活に取り入れようとしている

仲間と病気をしたときの経験や病気に関する知識と病気を予防するための生活行動を伝え合いながら、知識と自分の生活場面と関連づけ、病気の予防を意識した生活行動を取り入れようとしている姿である。

◇ 健康で過ごすために、病気の予防を意識した生活行動をしようとしている

学習した病気の予防の知識を類似した生活場面でも生かすことができるように類推し、手洗いやうがいなど病気の予防を意識した生活行動が日常生活の中で習慣化しようとしている姿である。

2 単元（題材）について

本学級の子どもたちは、これまで保健学習において、けがの起こり方とその予防やけがの悪化を防ぐための簡単な手当てを学習している。また、毎年流行するインフルエンザの時期には、保健だよりで情報を得たり、手洗い指導では実際に薬液を使って自分にあつた手洗いの仕方を見付けたりしている。しかし、大人からの再三の指示や手洗い指導の直後にはていねいな手洗いを実践しているが、日常生活の中で病気の予防を意識した手洗いやうがいの習慣化までには至っていない。これは、日々の生活行動と病気の予防が関連付けられてなかったり、大人に依存した他者管理の中で育ち、発病したときは大人の指示待ちを期待したり、次は自分が感染するかもしれないという危機感が低かったりするからだと思われる。

本単元は「病気の起こり方」や「病原体がもととなって起こる病気」について、仲間と考えを交流しながら、健康で過ごすために生活行動を見直していく学習である。学習の中で、誰もが経験をしている病気の一つである風邪やインフルエンザから「どうして風邪やインフルエンザにかかるのだろう」という疑問をもつ。その疑問をもとに、風邪やインフルエンザの感染の仕方を生活経験と関連付けながら見付けたり、仲間の生活行動や考え方と出会うことによって、多様な生活行動の仕方や考え方があることに気付いたり、予防を意識した生活行動をしていなかったことを自覚したりするのである。そして、科学的根拠に基づき病気の予防の生活行動を意味付け、自分に合った生活行動を実践しようとするのである。

そこで、以下の支援を具体化し、本単元で求める子どもの姿の実現を図りたい。

○ 「かぜ」の症状と感染前の行動を回想させ、「かぜ」の原因が生活行動と関わっていることを生活経験から見出すように促す

だれもが経験をしている「かぜ」に感染したときの症状や感染前の生活行動を振り返り、「かぜ」の原因と自分の生活行動とを関連付けて考えるように促す。そうすることで、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などがかかわり合っ起こる病気と自分の生活行動とのつながりを理解できるようにする。

○ 生活経験や既習知識から病気の原因や病原体がもととなって起こる病気の予防の方法を見付けることができるように、板書上で類別をする

生活経験や既習知識から見付けた病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などがかかわり合っ起こる病気の原因や病原体がもととなって起こる病気の予防を板書上で類別する。そうすることで、生活経験や既習知識と病気の予防とのかかわりが整理され、自分の生活行動とのつながりを意識できるようにする。

○ 病気の予防の知識と自分の生活行動のつながりを類推して考える場を設定する

インフルエンザを予防するための知識を活用して、日常生活の中で病気の予防を意識した具体的な生活行動を選択する場を設定する。そうすることで、インフルエンザの予防の知識が、他の病気の予防にも活用できることに気付き、健康な生活をおくるために、毎日の病気の予防を意識した具体的な生活行動の必要性が理解できるようにする。

○ 病気の原因や予防方法を説明したり、実際の場面を想定できるような絵図を提示したりする

子どもが生活経験や既習知識から病気の原因やインフルエンザの予防の具体的な生活行動を見付けることができるように、病気の原因やインフルエンザの感染の仕方の概要を事前

に説明する。また、身近な問題として病気の予防を考えることができるように、実際の場面が想定した絵図を使って説明をする。そうすることで、子どもたちが病気の原因や病気の予防のための生活行動を根拠に基づいた意味付けして考えることができるようにする。

○ 仲間と互いの生活の仕方の考えや取り組みを交流するように促す

病気の起こり方や病気を予防する方法を考える際、全体で交流する前にペアで話し合うように促し、子ども一人ひとりが自分の考えを述べたり、アドバイスを受けたりする機会を増やす。そうすることで、自分の生活行動を自覚し、自分なりの生活行動を見付けることができるようにする。

3 目 標

- 病気の起こり方や病原体がもととなって起こる病気の予防方法を知り、自分に合った病気を予防するための生活行動を見出すことができるようにする。
- 仲間とともに病気の予防と生活行動をつなげて考えることを通して、病気の予防の必要性を感じて生活行動をすることができるようにする。

4 評価規準

| 関心・意欲・態度（関） | 思考・判断・表現（思） | 知識・理解（知） |
|---|--|--|
| ○病気の予防について、教科書や資料等を見たり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 | ○病気の予防について、教科書や調べたことをもとに、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 | ○病気の起こり方について理解したことを言ったり、書いたりしている。 |
| ○病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。 | ○病気の予防について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明している。 | ○病原体がもとになって起こる病気の予防について理解したことを言ったり、書いたりしている。 |

5 指導計画 9M (3時間) が本時


| 学習活動 | 子どもの意識 |
|--|--|
| <p>第1次 病気の起こり方を考える 3M (1時間)</p> | |
| <p>学習内容 ・病気の起こり方の理解(知)・病気の起こり方の気付き(関) ・自他の生活行動の比較(思)</p> | |
| <p>□病気の起こり方を考える (3M)</p> | <p>・健康な生活ができるように病気の予防を学習するのだね。病気の起こり方を誰もがかかったことのある「風邪」で考えてみるのだね。風邪にかかったとき、頭痛やせきの症状がつかつたよ。風邪の原因は、病原体の風邪ウイルス、抵抗力の低下、生活行動、環境の4つがあるよ。手洗い、うがいは、体を守るバリアーのような役目をもつ生活行動だね。食事は、病気とたたかう力をつくる抵抗力を低下させないこととバランスの良い食事をするという生活行動の両方に関係しているよ。雨の日に濡れて帰ったら喉が痛くなったことがあるよ。これは雨と濡れたことが重なったから風邪にかかったのだね。風邪は病原体、体の抵抗力の低下、生活行動、環境がかかわり合って起こるのだね。病気の原因が分かったので、今度は病気の予防の仕方を考えてみたいな。</p> |
| <p>第2次 病原体が主な要因となって起こる病気の予防方法を考える 6M (2時間)</p> | |
| <p>学習内容 ・病気の予防への理解(知)・自分の生活との関連(関)・自他の生活行動と比較(思う)</p> | |
| <p>□病原体がもとになってうつる病気の予防方法を考える (3M)</p> <p>□いろいろな病原体がもとになってうつる病気の予防方法を考える (3M)</p> | <p>・インフルエンザの病原体はインフルエンザウイルスで、飛沫感染、接触感染でうつっていくのだね。インフルエンザウイルスを体の中に入れてないようにするために手洗いやうがいをするのだね。インフルエンザを予防する方法はいろいろあるよ。インフルエンザが流行していない時期に全部する必要はあるのかな。私はしたほうがいいと思うよ。ぼくは、全部する必要はないと思うよ。でも、手洗いやうがいはしたほうがいいと思うよ。いつもしたほうがよいことと流行したときにしたほうがよいことがあるね。これは他の病気を予防することにもつながっているね。インフルエンザ以外の病気の予防のことが知りたいな。</p> <p>・病原体がもとになって起こる病気を防ぐためには、病原体をなくす、感染する道筋を断ち切る、抵抗力を高めるという3つの条件が必要だったね。この3つを使って、この間ニュースで話題となった食中毒は防ぐことができるのかな。食中毒の病原体は熱に弱いので、よく火を通すといいね。これは病原体をなくし、体の中に菌を入れない方法だね。給食当番のときにマスクをするのは病気の道筋を断ち切る方法だね。教科書にエイズのことを書いてあったよ。エイズも3つの方法を使って防ぐことができるのかな。病原体の性質から感染の仕方を考えると、エイズにかからないようにすることはできるね。病原体や感染の仕方を知るといろいろな病気を防ぐことができそうだね。</p> |

6 本時案

[6月6日(月) B1~B3 於 6年2組教室]

(1) ねらい 病原体がもととなって起こるインフルエンザの具体的な予防法を3つの発
生原因に分類し、生活行動と関連づけて考えることができるようにする。

(2) 学習過程

| 本ときにつながる学び | |
|--|---|
| ・病気の起こりの理解(知識) ・生活経験や既習知識と病気の起こり方の関連付け(思) | |
| 学習活動/子どもの意識 | 支援 |
| <p>① 病気の種類と原因を確認する (5分)</p> <p>学習内容 ・病気の種類と原因(知)</p> <p>・インフルエンザは、病気の原因である病原体と体の抵抗力の低下、生活行動、環境がかかわり合って起こるよ。 ・インフルエンザはどうしたら予防できるのかな。</p> | <p>○インフルエンザの感染の仕方を絵図で説明し掲示する。そうすることで、インフルエンザの予防と生活行動のかかわりを見付けやすくする。</p> |
| <p>② インフルエンザの予防の方法の理由を話し合う (30分)</p> <p>学習内容 ・病気の予防への理解(知) ・自分の生活との関連(関) ・自他の生活行動の比較(思)</p> <p>・インフルエンザが流行しているときは手洗いやうがいをしたよ。 ・お店の入口には、アルコール消毒液が置いてあるよ。 ・食事や運動に気をつけて、抵抗力を低下させないようにすることも大切だよ。 ・インフルエンザを予防するには、病原体が体内に入らないようにする方法と体内に入ってきた病原体と戦う方法があるね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>今、インフルエンザを予防するための生活行動を全部する必要があるでしょうか。</p> </div> <p>・私は、インフルエンザが流行する前から食事等に気をつけて抵抗力を低下させないために全部する必要があると思うよ。 ○ぼくは、マスクはしなくてもいいと思うから全部する必要はないと思うよ。でも、手洗いはしたほうがいいと思うよ。他の人の考えも聞いてみたいな。 ・人ごみを避けるのは流行したときだけでいいと思うよ。 ・インフルエンザを予防するための生活行動は、いつもしたほうがよいものと流行したときはしたほうがよいものがあるね。 ・手洗いやうがいは他の病気を予防することにもつながっているのだからいつもしたほうがいいね。</p> | |
| <p>③ 学習を振り返る (10分)</p> <p>学習内容 ・抵抗力を高める方法を考えるための見通し(関)</p> <p>○インフルエンザが流行しているときは、ウイルスが体に入らないように特に手を丁寧に洗うよ。でも、これからは、病気を予防するために手洗いやうがいは毎日するつもりだよ。 ・インフルエンザ以外の病気でも、3つの条件を考えると病原体が原因となって起こる病気では予防できるのかな。</p> | <p>○生活経験や既習知識から見付けた手洗いやうがいの生活行動を病原体、感染経路、抵抗力に類別して板書する。そうすることで、病気の予防要因と自分の生活行動とのかかわりに気付きやすくする。</p> <p>○インフルエンザが流行していない時期にインフルエンザを予防するための生活行動を実施するかしないかを検討する場を設定する。そうすることで、インフルエンザの予防の生活行動が他の病気の予防にもつながることに気付き、生活行動の必要性が理解できるようにする。</p> <p>○全体で交流する前にペアで自他の考えを交流するようにする。そうすることで、自分の考えを明確にして全体の話し合いに臨むことができるようにする。</p> |

